

日本美術院の創設者・ボストン美術館東洋部長

空前絶後の 岡倉 天心展

生誕150年・没後100年記念

大観、春草、近代日本画の名品を一堂に

2013年 11.1(金) ▶ 12.1(日)

休館日 ▶ 11月11日(月)、18日(月)、25日(月)

開館時間 ▶ 午前10時～午後6時(入館は閉館30分前まで)

主催 ▶ 福井県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

共催 ▶ 福井放送株式会社

協賛 ▶ ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

特別協力 ▶ 東京藝術大学大学美術館

料金 ▶ 一般1000円・大高生700円・中小生500円

※30名以上の団体は2割引 ※学生割引は学生証の提示が必要です。

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額。

(ただし障害者手帳等に介護印のある方のみ)

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1

TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>

※岡倉覚三＝岡倉天心

「東洋と西洋とは、W.S.ピゲロウ&J.E.ロッジ
岡倉覚三において相い合したのである」

Town and Country誌
「岡倉覚三の『茶の本』は哲学、宗教、美と芸術の
本である」 —1906年8月11日

「元来岡倉君は
天才肌の人であって、
美術界に於ける
其の功労は決して
没すべからざる
ものである」 — 高田早苗

「もしわが国が文明国と
なるのに血なまぐさい戦
争の栄光によらねばな
らぬなら、我々は甘んじ
て野蛮人でいよう」
— 岡倉天心『茶の本』

